

スポーツ競技「国際大会」開催の試合会場について 大会運営統括責任者として“ベニュー・インスペクション”する際のキーポイント

フリーランスプランナー
今 昌司

※以下は、スポーツ施設を試合会場として使用する際に、運営面からの視点で施設使用に際して確認すべき要件の概略を記載したのですが、その内容は、スポーツ施設の整備計画時点に検討すべき要件と、多くの点で重複する内容と考えますので、参考までに示させていただきます。

【「みる」スポーツのためのスポーツ施設としての3点の“KEY ISSUES”】

① OPERATIONS

①-1：《ハード・スペック要件》

サイズ、基本的な施設機能、諸室の配備状況、常設設備の内容、常設設備の性能 等
⇒対象施設がどのくらいのレベル、および規模のイベント・大会の実施が開催可能であるか？
※当該イベント・大会が求めるスペックと比較対照します。

①-2：《サービス・ホスピタリティ要件》

アスリート(チーム)対応、観客対応、メディアサービス、ブロードキャスティング、VIP接遇 等
⇒イベント・大会のステークホルダーに対する付加価値をどのレベルで具体化できるか？

② MANAGEMENT

②-1：《施設管理組織と運営体制要件》

「①OPERATIONS」要件に関する業務対応と運営スキル 等
⇒施設として開催可能を謳うイベントや催事の開催レベルに対応できるスキルとノウハウが施設管理者(施設運営者)側に備わっているか？

②-2：《利用規定・規則要件》

「①-2《サービス・ホスピタリティ要件》の具体化を阻害する規定・規則の有無 等
⇒“使わせていただく施設”なのか、“使っていただく施設”なのか……？

②-3：《仮設対応要件》

「①OPERATIONS」要件の既存内容で賅うことができない要件の仮設対応の必要度 等
⇒正確に見極めることでコスト面での精査、および代替対応措置がリーズナブルに取れる

③ MARKETING

③-1：《集客力要件》

男女を問わずあらゆる年代層の人々に対して一様に利便性が高いアクセス環境 等
⇒「する」スポーツのための施設としての性格が強い施設との最も異なるポイントとなる

③-2：《収益性要件》

試合や催事の価値と同等、またはそれ以上に、施設の利用価値、使用価値を高める効果 等
⇒観客等の施設内での消費単価が高まる……等
“あそこで見ると〇〇〇ってなんか違うよね！”、“私も将来あそこで試合がしてみたい！”……

以上